						授	段業方:	法	場	所	教	.員		
No	授業科目名	授業科目概要	配当年次	授業	単位	講	演	実験・実	校	校	専	兼	企業等と	教員によ実務経験
	XXIIII	JATTOMA	学期	時数	数数	義	習	へ習・実技	内	外	任	任	の連携	るのおる
1	基礎自動車工学	これから学ぶにあたり、基本的な自動車とは何かについて理解する。整備士にかかわる工学的な基本事項理解する。		23		0			0		0			
2	エンジン系構造	る丁学的な基本事項理解する。 原動機及びエンジン系電装品、動力伝達 装置の作動原理及び基本構造、名称等 を理解習得する。		63		0			0		0			
3	シャシ系構造	車体各部及び車体系電装品、動力伝達 装置の作動原理及び基本構造、名称等 を理解習得する。	1前	63		0			0		0			
4	自動車総論	自動車に関する物理・数学、環境、内燃機関等基礎概論を理解習得する。	1通	25		0			0		0			
5	図面・材料	自動車を取り扱う上で必要な材料の種類、製法、特徴、用途及び図面に関する一般知識について理解習得する エンジン及びエンジン系電装品の点検整		19		0			0		0			
6	エンジン系整備	備、および電子制御燃料噴射装置の基 礎を学ぶ	1後	37		0			0		0			
7	シャシ系整備	車体、動力伝達、変速装置、走行装置、 懸架装置、および灯火類などのシャシ系 電気装置の点検整備を学ぶ	1後	37		0			0		0			
8	二輪車整備	二輪車特有の各種装置の点検整備、お よび調整方法を学ぶ	1後	36		0			0		0			
9	整備作業・測定・検査・機器	整備作業・測定・検査に関して、その目的 を理解し、基本的な作業の仕方や正しい		34		0			0		0			
10	エンジン系応用	使用法などを理解する エンジン総論ハフンサ機構、可変ハルフ開 閉機構、ロータリエンジン、燃料装置、L PG、過給機など、エンジンの構造機能 (応用編) 及び、燃料油脂などについて		37		0			0		0			
11	シャシ系応用	理解習得する シヤン性能総論、A I、油圧 P S、アライ メント要素、M クラッチ、トルクコンバータ、 サスペンション性能、A B S , T C S 等 の機能構造作動などについて理解習得す る		37		0			0		0			
12	ジーゼル自動車	ジーゼル自動車全般についての構造作動 機能・故障診断と整備を習得する	2後	27		0			0		0			
13	総合自動車工学	国家二級試験に合格するために、自動車 工学の復習を行い、理解度を深める 走行性能、プラネタリギヤ、エンジン性能、	2後	28		0			0		0			
14	自動車総論	定行性能、プラネタリキヤ、エンジン性能、 熱効率と仕事率、電気効率、オシロスコー プ波形、軸重計算、制動性能 等 機械糸の改厚診断における診断方法と对	2前	27		0			0		0			
15	故障原因探求	応手法を理解習得する。一級資格につながる電子制御系統の診断手法の基本を理解習得する。整備に関する制度等の基本的な事項を理解する	2後	27		0			0		0			
16	総合自動車整備	自動車検査業務や点検整備など、社会 において実施されている実践的な整備内	2後	54		0			0		0			
17	自動車検査	容をしり、その手法等を理解習得する。 自動車の点検車検要領・診断機器・大型自動車・検査機器取り扱いなど自動車 の検査や各検査機器の活用と関係法令・ 基準等について理解する	2前	23		0			0		0			
18	自動車法規	法規道路運送車両法、道路運送車両の 保安基準を学ぶことを通じて、二級自動 車整備士としての知識と技術を習得して 正しい法規の運用能力を身に付ける。	2後	23		0			0		0			

						授	業方	去	場	所	教	員		
			配业	授	ъ.			実					企	教 実
			当年	業	単 	講	演	験	校	 校	車	兼	業等	員 務 に 経
No	授業科目名	授業科目概要	次		位	PT-3	/54	実	1^	1^	1	AK.	٤	よ験
				時				習					の	るの
			学		数	義	習	•	内	外	任	任	連	授 あ 業 る
			期	数				実					携	* 0
_		 整備に必要な機械加工技術を理解習得						技						
19	工作作業	するとともに、工作機器の基本的な取り扱	1前	23				0	0		0			
	++ 1 = 1 \tau \tau	いを覚える	. \=											
20	基本計測	計測作業の正しい方法を理解習得する エンジン本体・潤滑・冷却・燃料装置・吸	1通	45				0	0		0			
21	実エンジン系構造	排気装置及びエンジン系電装品の分解	1 前	153				0	0		0			
	大工ノノノボート	組立作業等を通じ構造機能と故障整備	הא ד	133										
		<u>概要を理解習得する</u> クラッチ・A T/M T・サス・フレーキ・ステア												
22	実シャシ系構造	リング・ボディ及びシャシ系電装品の分解	1 前	153				0	0		0			
	大ノバノ水構造	組立作業等を通じ構造機能作動と故障	הא ד	133										
		<u>整備概要を理解習得する</u> 前期エンジン系構造実習にて得た分解・												
23	実エンジン系整備	組立方法を基に作業を行い、整備に必要	1後	109				0	0		0			
_		な点検・調整方法を理解習得する 前期シャシ系構造実習にて得た分解・組立												
24	実シャシ系整備	方法を基に作業を行い、整備に必要な点	1後	109				0						
		検・調整方法を理解習得する 前期二輪車構造実習にて得た分解・組												
25	実二輪車整備	削期一輪里構造美賀に(得た分解・組 立方法を基に作業を行い、整備に必要な		86				0	0		0			
23	大一====================================	立分がを整に下来で行い、正偏に必要な <u>点検・調整方法を理解習得する</u> V6エンジン・可変ハルノ機構、ロータリ、	112	80										
26	実エンジン系応用	LPG燃料装置、過給機、ラッシュアジャ スタなどエンジン新機構・応用機構の構造		106				0	0		0			
20	<u> </u>	機能等を分解組立作業等を通じ理解習	נים ב	100										
		得する オートマチックトランスミッション、パワーステア												
	実シャシ系応用	ハートマテックトノンスミッション、パソースデア リング、アライメントなどシャシ新機構・応用												
27		機構の構造機能等を分解組立作業等を	2前	106				0	0		0			
		通じ理解習得する 社会において実施されている実践的な整												
28	実践自動車整備	備内容をしり、その手法等を理解習得す	2前	50				0	0		0		0	0
	2 (2) (1)	る。【校内模擬企業実習】												
20	実自動車検査	自動車の検査について実習作業を通じ理 解習得する。各検査機器の活用と関係						0	0		0			
29	天日劉宇恢且			3/										
30	実ジーゼル自動車	法令・基準等について理解する ジーゼル自動車全般についての構造作動	2後	50				0	0		0			
-		機能・故障診断と整備を習得する	- 12											
]		機械系の故障診断における診断方法と対	~ //								_			
31	実故障原因探求	応手法を理解習得実践する。電子制御系統の診断手法の基本を理解習得する。	2後	50				0	0		0			0
<u></u>		未続の診断于法の基本を理解督得9つ。 自動車検査業務や点検整備など、社会												
	₩ ^ 	日勤単校直来物で点検整備など、社会 において実施されている実践的な整備内						_						
32	総合自動車整備	容などを実践し、その手法等を理解習得	2後	100				0			0			0
		する。 安全運転に関する心構えを認識し、今後												
33	安全運転	女主建戦に関する心情人を認識し、ラ後 の運転等の意識改革を図るとともに事故	1 2	36		0		Δ	0	Δ	0			
		減少に取り組む	通											
	1	 サービスにおける接客実務の理解の幅を	12											_
34	接客実務	広げ、実践できるようにする(SE3級)	前	36		0			0			0		0
		 就職先進路別グループに分かれ、国家試												
2-	性如寒血	験合格に向けた最終実力養成と、即戦	2 44	100		_								
35	特別講座	力となりうる実践的スキルの習得、向上を	Z 俊 	108				0	0			0		
Щ		目指し実力養成を図る												

			.,	L	l ,.	」接	業方	 法	場	·所	教	員		教,
No	授業科目名	授業科目概要	次:	時 業	1位					外校			} ک (員る
		車両技術領域及び診断作業等領域にお	1 2											
36	新機構・次世代技術	ける新デバイス・新システム等の構造機能	12 後	21		0			0		0			
		等の理解習得を図る	1女											
		車両技術領域及び診断作業等領域にお	1 2											
37	新機構·次世代技術	ける新デバイス・新システム等の構造機	後	75				0	0		0			
		能、整備要領等の理解習得を図る 会社における数字の基本を理解や経営に												
38	経営概論	関する基本理念等の理解習得と1級整	3 4	60		0			0		0			
		備士としての対人関係能力向上を図る 顧客対応能力、中古車査定、用品知識	前											
		大学の応用スキルや販売会社における実	3 4											
39	営業実務	務としての知識を身に付けると共に、接客	通	120		0			0		0			
			WE											
		実務の能力向上を図り実践する。 社会人としてのPC操作能力の向上を図る	3 4											
40	情報処理技術	と共に、販売会社で使用しているシステム	通	60			0		0		0			
		を学び実践できるようにする 1級整備士においての自動車構造及び												
41	自動車構造・力学	自動車の性能等における力学的要素につ	3後	29							0			
		いて知識を習得する 1級整備士レベルでの自動車電気装置												
40		I	~ ~											
42	自動車電気・電子	(電子制御回路の基本と応用及び点検	3前	29							0			
		診断等)における知識を習得する 1級整備士レベルでの自動車電気装置												
43	総合診断技術	における故障診断の知識や通信信号に関	3通	68		0			0		0			
		する知識を習得する												
44	新材料·新技術	自動車の新機構・新材料及びHondaの 技術等について理解習得する	3後	29		0			0		0			
45		自動車のシャシ関連の電子制御装置につ	2,2	02										
45	応用整備技術	いて学ぶ	3通	82		0			0		0			
		1級目動車整備士が担っていく社会的に 重要なテーマとして、「環境保全」の必要												
46	環境安全論	性と意義、資源の有効利用、産業廃棄	3前	32							0			
10		物の影響と対応、整備工場における適正	נימ כ	52										
		加理等の知識を理解する 1級整備士における回路診断等に必要												
		1 級整備工における四路診断寺に必要 な各計測器の特性や適用範囲、測定対												
47	機器の構造取扱い	象の電気回路の特性、機器の活用方法	3前	16		0			0		0			
		を理解する												
		自動車に関する法令を細かく把握し、1												
48	自動車検査	級整備士として必要な検査要領を理解		5							0			
		<u>習得する</u> 1級整備士として道路運送車両法や保												
49	自動車法規	安基準、合わせて関係諸法令等を理解	3後	11		0			0		0			
		し、正しい運用能力を身につける Hondaサービスエンジニアに必要な車両の知												
		間のndaリーにスエンシーアに必要な単画の知識を学び、資格取得を目指す												
50	自動車概論 I	一級整備士として必要な応用技術を理解	3後	32		0			0		0			
		する												
51	自動車概論Ⅱ	国家1級登録試験に向けた環境安全、法	4前	34		0			0		0			
		一				-			_					
52	エンジン制御システム	御システム関連の実力アップ	4前	34		0			0		0			
53	シャシ制御システム	国家1級登録試験に向けたシャシ電子制	4前	34		0			0		0			
		御システム関連の実力アップ 実践的な物作りを通じて機械加工の基礎	. 133	L		H			Ě		Ě			
54	機械加工	技術、各種工具・機器の取扱い方法を習	3後	14				0	0		0			
		得する。												

						担担	(業方)	 去	場	所	教			
No	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	— 単 位 数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携	教員による授業実務経験のある
55	応用計測	電気の計測機器の測定方法を理解習得 し実践する。	3前	14				0	0		0			
56	整備技術	2級整備士取得者としての実技レベルの 向上及び、フロントアドバイザーに必要な 技能を習得する。	3前	126				0	0		0			
57	故障診断	エンジン電子制御系を実車で確認し、回路の断線・短絡の変化とECUの異常検知など、物質診断能力を養う	3通	101				0	0		0			
58	応用整備実務	など故障診断能力を養う 問診・整備内容説明などのお客様対応を 含む総合的な故障診断技術を理解習得 する。	3後	101				0	0		0			
59	整備作業課題研究	テーマ研究を推進することでテーマ推進のプロ セスを理解すると共に、各自の整備技術・知 識の向上を目指す	3通	137				0	0		0			
60	実自動車検査	識の向上を目指す 自動車に関する法令を細かく把握し、それら に対応した検査・点検・一般作業を習得す る。	3後	22				0	0		0			
61	サービスマネージメント I	自動車電子制御に関わる電気・電子の知識を深めたり、実践的で活用できるボディケアの商品知識,施工方法を修得する。ハイブリッド車に対応する低圧電気取扱者特別講習の受講	3通	104				0	0		0			
62	サービスマネージメント I	サービスマンとしての知識・技術の習得を通 じ、自己のスキルアップを目指す。	4前	52				0	0		0			
63	企業実習	授業で学んだ理論と技術を実際の職場で実践、確認することで、自己の弱点を把握し、 卒業までの具体的な課題と目標を明確にする。	4通	216				0		0	0		0	0
64	専門実習	一級整備士としての実践的な整備技術の 向上を図ると共により高度な診断スキルを 習得する	4通	153				0	0		0			
65	応用実習	エンジン・シャシ系各部門の電子制御装置の総合故障診断技術の習得と新技術・振動騒音等応用知識の幅を広げる	4通	200				0	0		0			
66	総合実習		4通	200				0	0		0			0

6 6 科目	4208単位時間	
--------	----------	--

卒業要件及び履修方法

必須科目全てにおいて必要時間の履修を完了し、かつ全ての試験に合格することが課程修了の条件となり、 必要な課程を修了した者を進級・卒業認定とする

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧表

								‡E					
No	授業科目名	学期	授業時数	① 教員	実務経験	② 教員	実務経験	③ 教員	実務経験	④ 教員	実務経験	⑤ 教員	実務経験
1	基礎自動車工学	1前	23										
2	エンジン系構造	1前	63										
3	シャシ系構造	1前	63										
4	自動車総論	1通	25										
5	図面・材 料	1通	19										
6	エンジン系整備	1後	37										
7	シャシ系整備	1後	37										
8	二輪車整備	1後	36										
9	整備作業・測定・検査・機器	1通	34										
	エンジン系応用	2前	37										
	シャシ系応用	2前	37										
	ジーゼル自動車	2後	27										
	総合自動車工学	2後	28										
	自動車総論	2前	27										
	故障原因探求	2後	27										
16	総合自動車整備	2後	54										
	自動車検査	2前	23										
	自動車法規	2後	23										
19	工作作業	1前	23										
	基本計測	1通	45										
	実エンジン系構造	1前	153										
	実シャシ系構造	1前	153										
	実エンジン系整備	1後	109										
	実シャシ系整備	1後	109										
25	実二輪車整備	1後	86										
	実エンジン系応用	2前	106										
	実シャシ系応用	2前	106										
	実践自動車整備	2前	50	中川 朋之	三重日産/Sss	藤田 博朗	一般整備工場/ネッット	上田 誠一	トヨタ販売店/外車ディ	白石 拓三	鈴鹿サービスセンター/I	福田雅敏	ホンダプリモ/Sss
	実自動車検査	2前	57										
	実ジーゼル自動車	2後	50										
	実故障原因探求	2後	50		白子サービス/QCT		ホンダプ Jŧ/Sss		サービス技術センター		サービス技術センター		
	総合自動車整備	2後	100	中川 朋之	三重日産/Sss	藤田 博朗	一般整備工場/ネッット	上田 誠一	トヨタ販売店/外車ディ	長尾 淳一	白子サービス/QCT	福田雅敏	ホンダブ゜リモ/Sss
	安全運転	12通	36										
	接客実務	12前	36	馬渕 健大	Hベルノ/一般整備	│ 白石 拓三	鈴鹿サービスセンター/ト	福田 雅敏	ホンダブ゜リモ/Sss	森林 秀朗	外車系販売店		
	特別講座	2後	108										
	新機構·次世代技術	12後	21										
	新機構·次世代技術	12後	75										
	経営概論	34前	60										
	営業実務	34通	120										
_40	情報処理技術	3 4 通 授業時数	2333										

授業時数 2333 実務経験授業数 236

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧表

No	授業科目名	学期	拉类叶类					担当					
No	投票科日石	子别	授業時数	① 教員	実務経験	② 教員	実務経験	③ 教員	実務経験	④ 教員	実務経験	⑤ 教員	実務経験
	自動車構造・力学	3後	29										
42	自動車電気・電子	3前	29										
43	総合診断技術	3通	68										
	新材料·新技術	3後	29										
45	応用整備技術	3通	82										
46	環境安全論	3前	32										
	機器の構造取扱い	3前	16										
	自動車検査	3後	5										
	自動車法規	3後	11										
	自動車概論 I	3後	32										
51	自動車概論 Ⅱ	4前	34										
	エンジン制御システム	4前	34										
	シャシ制御システム	4前	34										
	機械加工	3後	14										
	応用計測	3前	14										
	整備技術	3前	126										
	故障診断	3通	101										
	応用整備実務	3後	101										
	整備作業課題研究	3通	137										
	実自動車検査	3後	22										
	サービスマネージメント I	3通	104										
	サービスマネージメントⅡ	4前	52										
	企業実習	4通	216	松下 忠史 F	lベルノ/Hウィング	勝沼 敦	一般整備						
	専門実習	4通	153										
	応用実習	4通	200										
66	総合実習	4通	200	松下 忠史 H	lベルノ/Hウィング	勝沼 敦	一般整備						

授業時数 1875

実務経験授業数 416 授業時総数 4208 実務経験授業総数 652

省令で定める基準時間数(3200h)に対する割合 15.5%*授業数に対する割合表記